株式会社　エーワン精密

2019年６月期決算説明会

2019 年 6 月 期　決 算 説 明 会 資 料 目 次

		ページ
（1） 当社の事業について		
① 当社の事業展開	……	1
② 事業内容・特色	……	2
③ 自動旋盤用カム部門	……	3
④ コレットチャック部門	……	4
⑤ 切削工具部門	……	5
（2） 決算について		
① 決算の概要	……	6
② 損益の状況	……	7
③ 財務の状況	……	8
④ ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰの状況	……	9
（3） 今後の事業展開		
① 自動旋盤用カム部門	……	10
② コレットチャック部門	……	11
③ 切削工具部門	……	12
（4） 添付資料	……	13

当 社 の 事 業 展 開

経営理念
高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事　業　内　容

自動旋盤用カムの製造・販売　1970年（昭和45年）～

コレットチャックの製造・販売　1976年（昭和51年）～

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作　1999年（平成11年）～

事　業　領　域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

15,000社以上の顧客からリピートオーダーが入る

自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用されるカムの設計・製作・販売

・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械

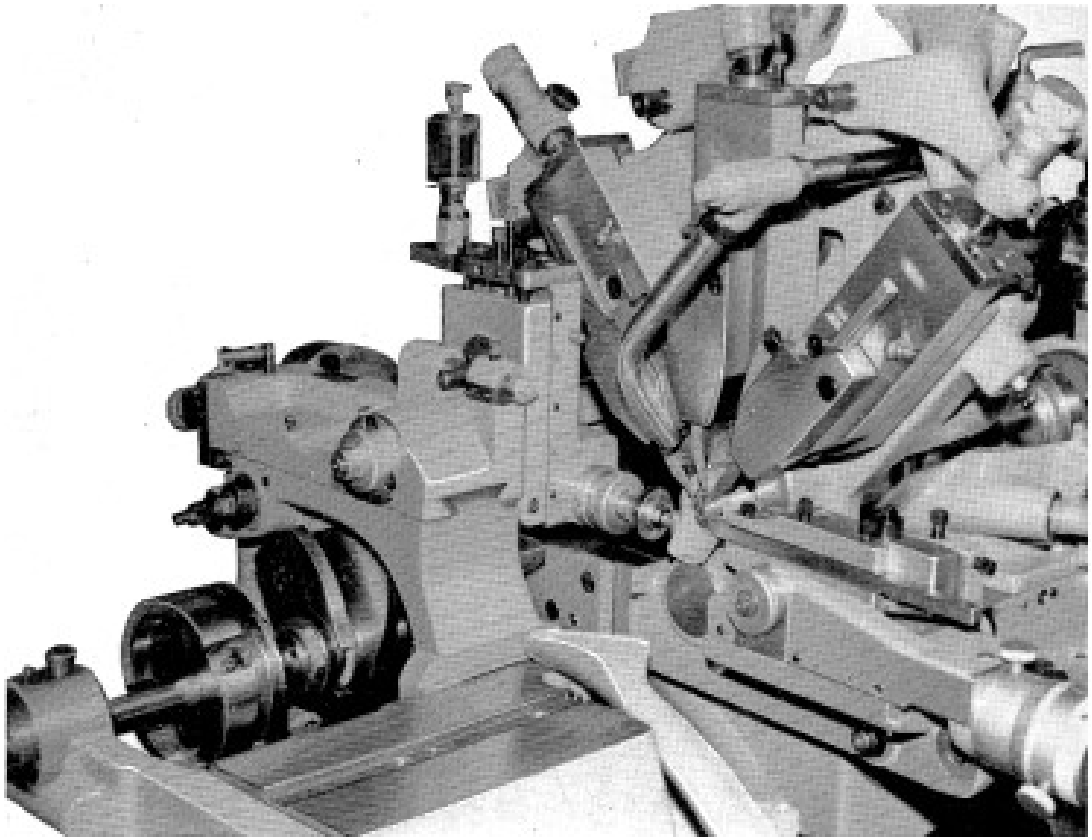
・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない

・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

製品写真

カム式自動旋盤（型番：NS－P1053）

カム取付後写真



コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

NC旋盤　3,302億円（2018年生産額）　21,074台

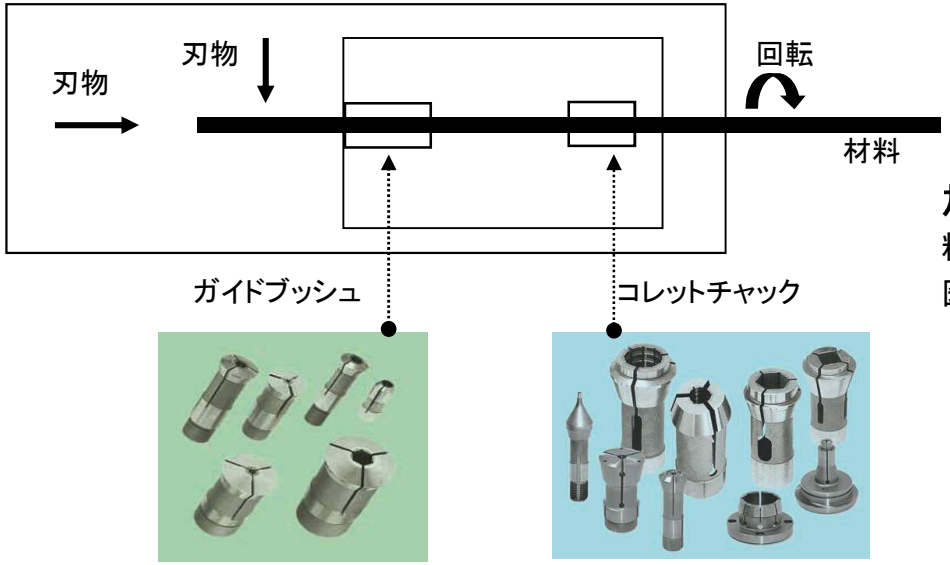
うち　小型CNC自動旋盤約 1,696億円（2018年推定生産額）

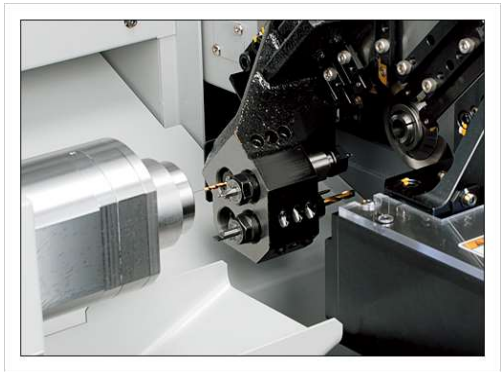
主な小型CNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機　920億円（2018年生産額）　3,667台





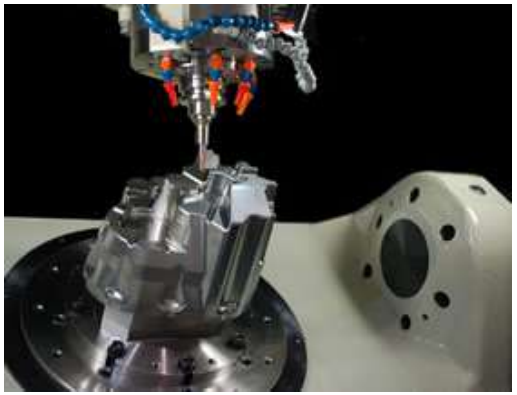
加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器、ガス・水道栓、住宅機器など

切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

マシニングセンター	2,790億円（2018年生産額）	31,899台
NCフライス、中ぐり盤	161億円（2018年生産額）	823台

使用される工具

超硬エンドミル	579億円（2018年生産額）
超硬ドリル	411億円（2018年生産額）
その他超硬工具	395億円（2018年生産額）

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

加工部品のイメージ

・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る

・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される

・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型

2019 年 6 月期　決算概要

売上	2018年7月～12月は概ね堅調で受注は増加傾向だったが、2019年に入ってからは顧客企業の機械稼働率が低下し、受注は減少傾向となった。
原価	全社としては大きな変化はなかった。切削工具部門で前期に先行して設備投資を実施したため、固定費が増加して部門利益は若干低下。
利益	事業活動による利益は通常通りだったが、前期に繰延税金資産計上額が増えて利益が嵩上げされていたため、会計上は減益となった。

人件費

（千円）

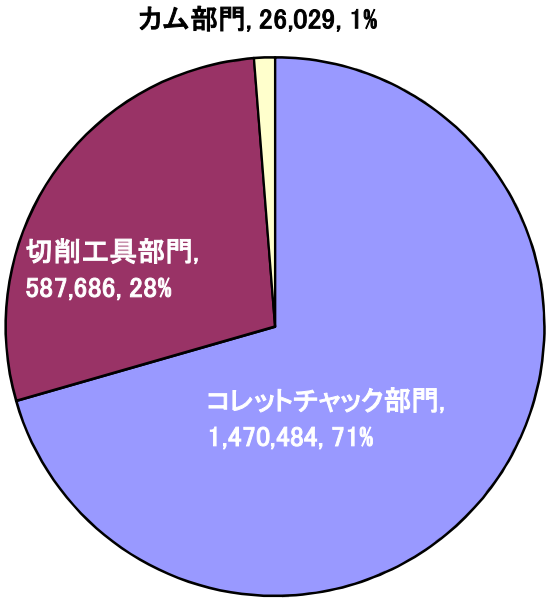
	28期	29期
労　務　費	773,344	799,323
コストに占める比率	56.4%	55.2%

設備投資額と減価償却費

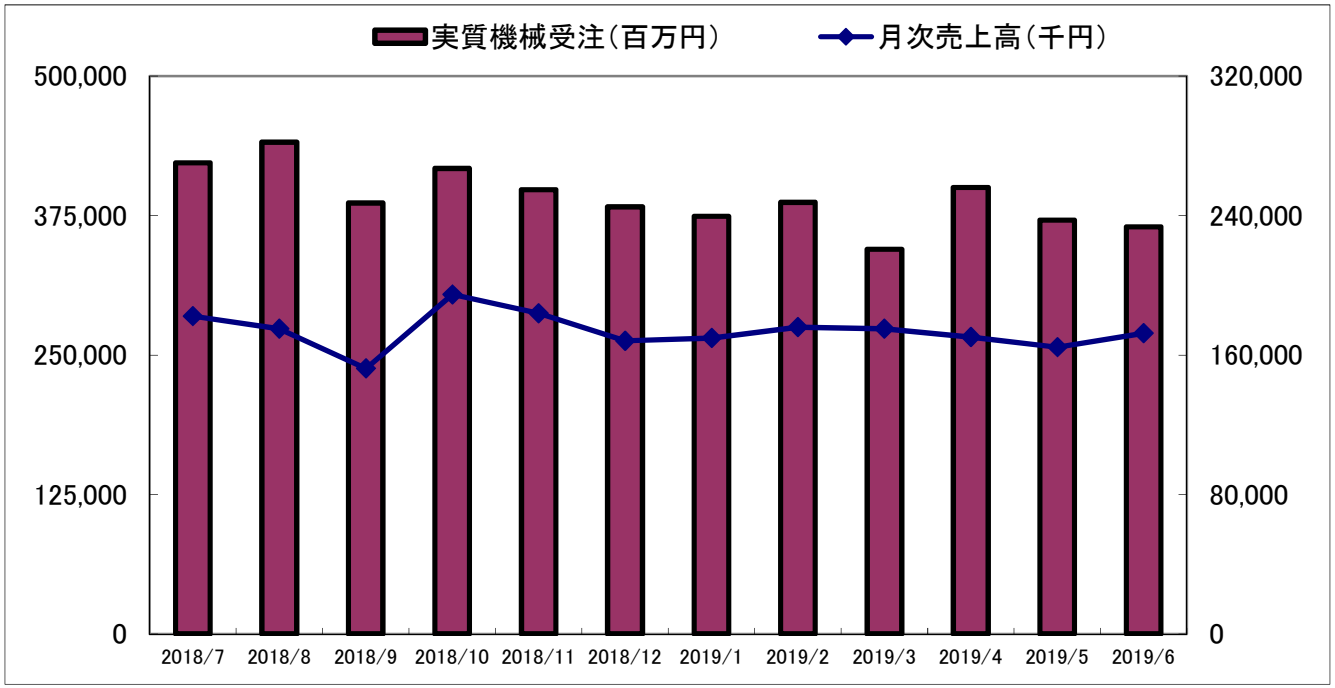
（千円）

	27期	28期	29期
設備投資額	222,346	197,196	78,360
減価償却費	181,786	175,564	175,961

部門別売上構成比（千円）



実質機械受注と月次売上高



2019 年 6 月期　損益の状況

（単位：千円）

	2018 年 6 月期			2019 年 6 月期			増 減 要 因
売上高		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
コレットチャック	1,420,993	69.7%	106.0%	1,470,484	70.6%	103.5%	2018年中は受注は増加傾向だったが、2019年に入ってから世界経済減速の影響で当セグメントの受注も減少傾向となった。
切削工具	592,051	29.0%	105.5%	587,686	28.2%	99.3%	市販切削工具再研磨は減少し、特殊切削工具製作・再研磨は増加となり、セグメントの売上は微減に終わった。
自動旋盤用カム	26,913	1.3%	88.0%	26,029	1.2%	96.7%	カム式自動旋盤での量産部品加工が減少し、減収となった。
合　計	2,039,958	100.0%	105.6%	2,084,201	100.0%	102.2%	
売上原価	1,152,700	56.5%	106.6%	1,150,808	55.2%	99.8%	
売上総利益	887,258	43.5%	104.2%	933,392	44.8%	105.2%	
販売費及び一般管理費	289,062	14.2%	99.4%	296,586	14.2%	102.6%	
営業利益	598,195	29.3%	106.8%	636,806	30.6%	106.5%	
経常利益	614,922	30.1%	106.2%	648,364	31.1%	105.4%	
当期純利益	461,229	22.6%	116.8%	447,563	21.5%	97.0%	税効果の関係で会計上利益は減少した。

2019 年 6 月期　財務の状況

（単位：千円）

事業年度 / 資産	2018 年6月期 金額	2018 年6月期 構成比	2019 年6月期 金額	2019 年6月期 構成比	増減要因
現預金	6,059,312	69.6%	6,758,282	75.1%	長期預金 301,727千円を短期に切替
売上債権	465,831	5.3%	449,266	5.0%	
棚卸資産	192,028	2.2%	202,109	2.2%	
その他流動資産	△ 436	0%	△ 279	0%	
固定資産	1,995,450	22.9%	1,596,671	17.7%	
資産合計	8,712,186	100.0%	9,006,050	100.0%	
負債・資本					
買入債務	18,559	0.2%	17,074	0.2%	
その他流動負債	278,029	3.2%	285,962	3.1%	退職給付引当金と役員退職慰労引当金の自然増
固定負債	453,712	5.2%	475,417	5.3%	
負債合計	750,300	8.6%	778,454	8.6%	
純資産合計	7,961,886	91.4%	8,227,595	91.4%	
負債・純資産合計	8,712,186	100.0%	9,006,050	100.0%	

2019 年 6 月期　キャッシュ・フローの状況

（単位：千円）

	2018年6月期	2019年6月期	対前年比増減額	増　減　要　因
営業活動によるキャッシュ・フロー	665,318	643,246	▲ 22,072	主な増加要因：税引前当期純利益　648,363千円 主な減少要因：法人税等の支払額　218,698千円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 198,073	▲ 478,444	▲ 280,371	主な減少要因：定期預金の預入による支出　400,493千円 有形固定資産の取得による支出　77,951千円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 144,411	▲ 168,052	▲ 23,640	配当金の支払額：　168,049千円
現金及び現金同等物の増減額	322,833	▲ 3,250	▲ 326,084	
現金及び現金同等物の期末残高	924,307	921,056	▲ 3,250	

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

事業展開
◇カム式自動旋盤（すでに製造中止）は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
◇将来的には減少傾向

競合状況
◇3千5百万円弱の市場規模で既存の中小企業が継続しているが廃業によりメーカー減少

当社の事業展開
◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
◇低コスト製造を徹底

今後の事業展開 ～ コレットチャック 部門

小型CNC自動旋盤用コレットチャック

推定市場規模　25～30億円

メーカー　4社程度

その他　専用機コレットチャック

メーカー　3、4社程度

＜今後の方向性＞
◇小型精密部品の分野では今のところ代替する加工方法は少ない（コスト、時間などを考慮して）
◇世界的に小型精密部品に要求される精度、加工難易度は厳しくなる傾向

＜国内の状況＞
◇CNC自動旋盤　シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ3社で世界の大半を占めている
◇国内で推定 12 ～ 13万台の機械が稼働している

＜当社の対応＞
◇加工部品に合わせた顧客ごとのオーダー品のコレットチャック対応
◇増大する高精度コレットチャック需要に対応した設備・人材の確保・拡充

今後の事業展開 ～ 切削工具部門

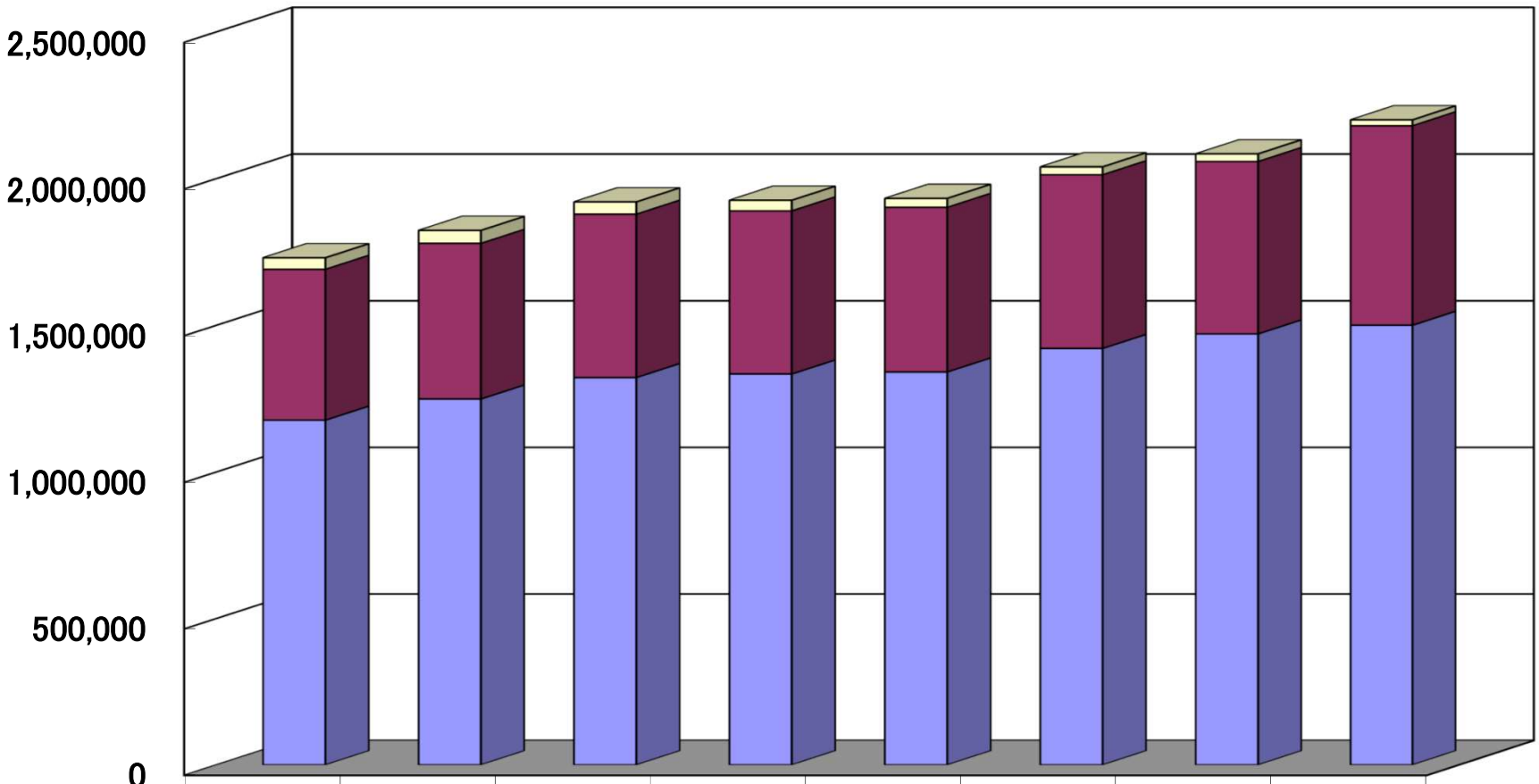
対象企業	主要加工内容	切削工具の状況		当社の受注	競合状況
大手メーカー 自動車・重電・航空機など 100社程度	量産部品加工 小ロット大物加工	切削工具内製、外部購入（工具商社経由） 社内再研磨、メーカー再研磨		△ △	内製、ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社 切削工具メーカー
準大手・中堅メーカー 従業者100名以上 13,000社程度	量産部品加工	市販切削工具 特注切削工具	再研磨外注 外部購入	○ ◎	再研磨会社 150社程 全国規模　4～5社 地域型、個人経営 工具商社系
中小加工企業 18万社程度	単品加工 設備・治具、金型 小中ロット加工	市販切削工具 市販切削工具 特注切削工具	再研磨外注 再研磨外注 外部購入	○ ◎ ◎	特注切削工具 大手中堅メーカー　10社程度 中小規模メーカー　数十社

＜市販切削工具の例＞　再研磨

＜特注切削工具の例＞　製作および再研磨

部 門 別 売 上 状 況

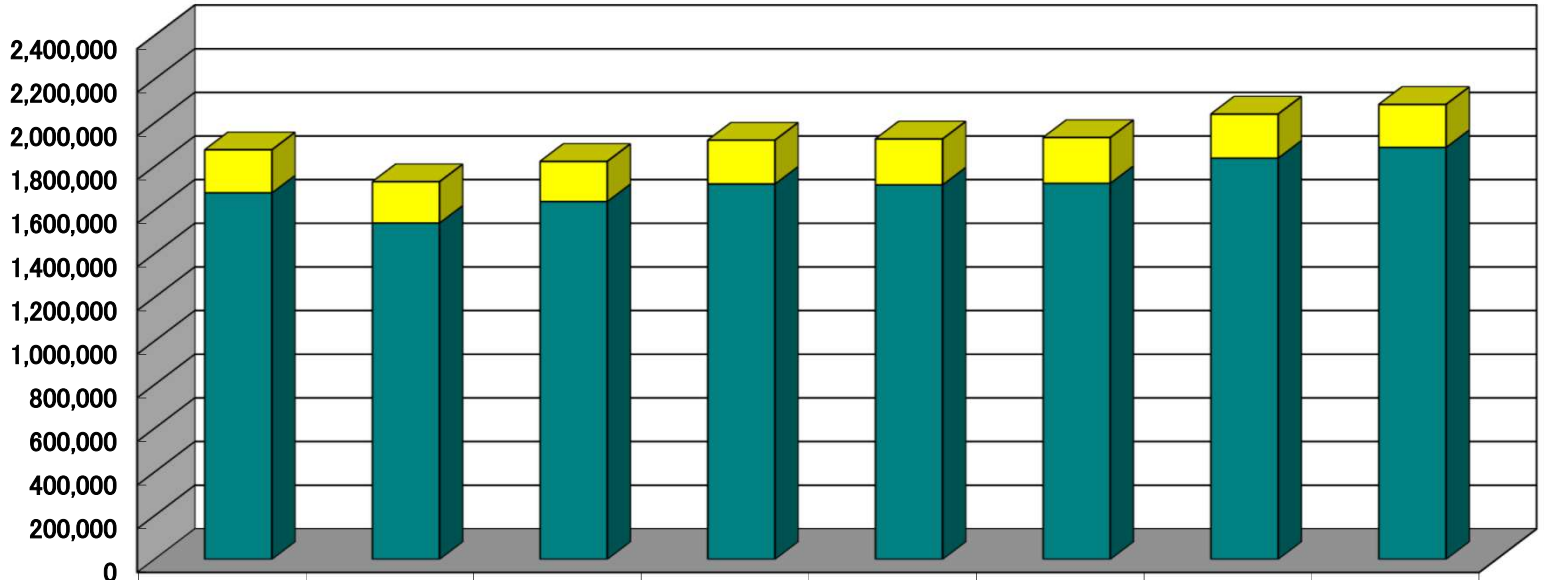
（単位：千円）



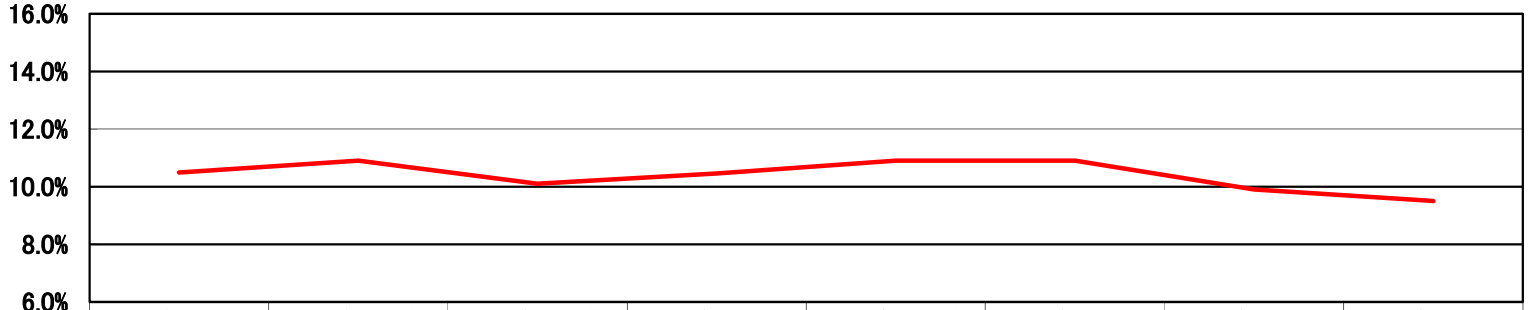
	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期（予）
自動旋盤用カム	39,217	43,938	41,653	36,082	30,569	26,913	26,029	20,000
切削工具	514,225	530,577	556,945	555,941	561,061	592,051	587,686	680,000
コレットチャック	1,176,541	1,248,581	1,321,739	1,333,928	1,340,813	1,420,993	1,470,484	1,500,000

輸 出 売 上 状 況

（単位：千円）

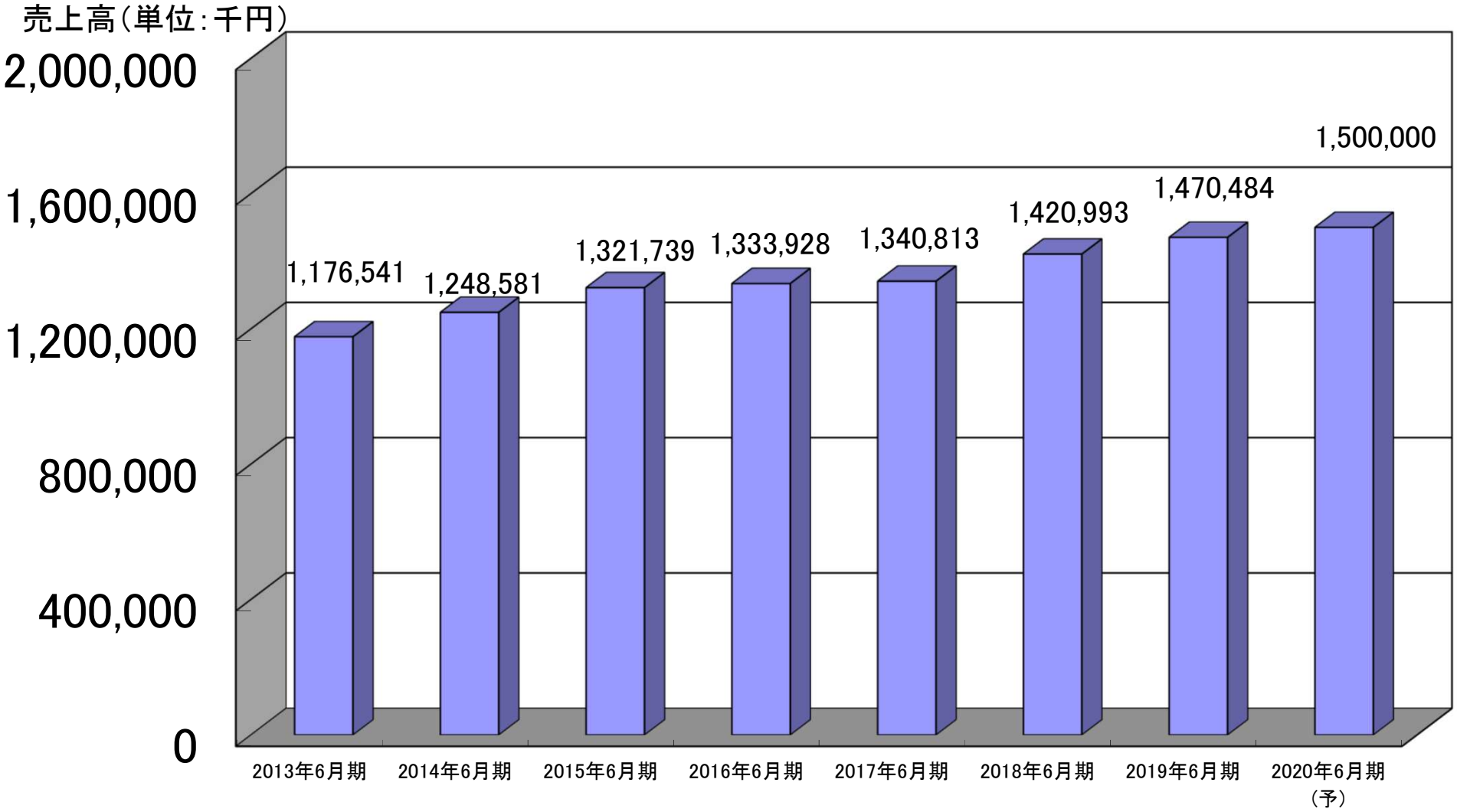


	2012年6月期	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
輸出販売高	197,456	189,111	183,644	200,865	210,146	209,803	201,764	197,036
国内販売高	1,678,782	1,540,873	1,639,452	1,719,473	1,715,805	1,722,641	1,838,193	1,887,165



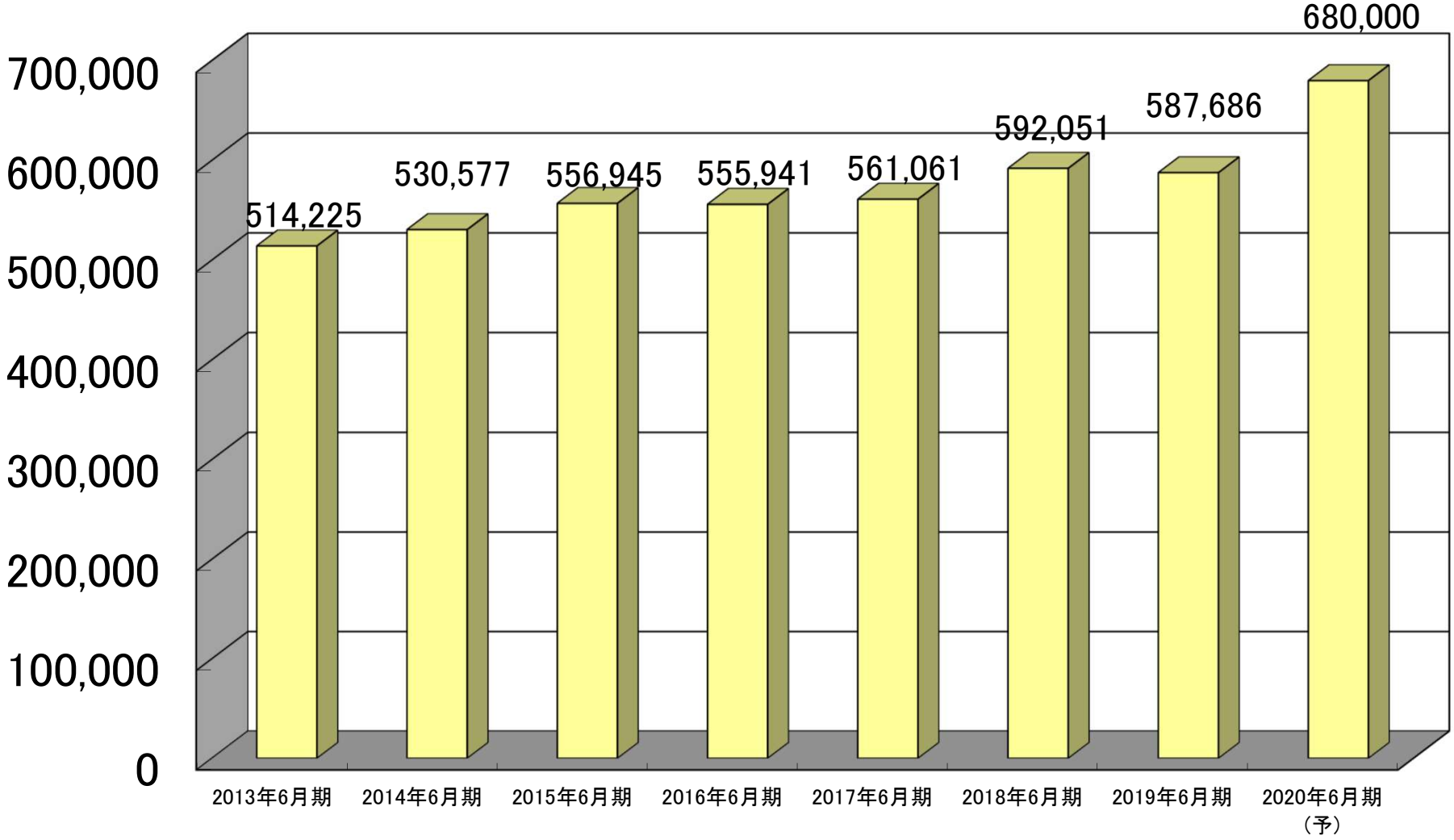
	2012年6月期	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
輸出/売上高	10.5%	10.9%	10.1%	10.5%	10.9%	10.9%	9.9%	9.5%

部門別状況 ～ コレットチャック部門



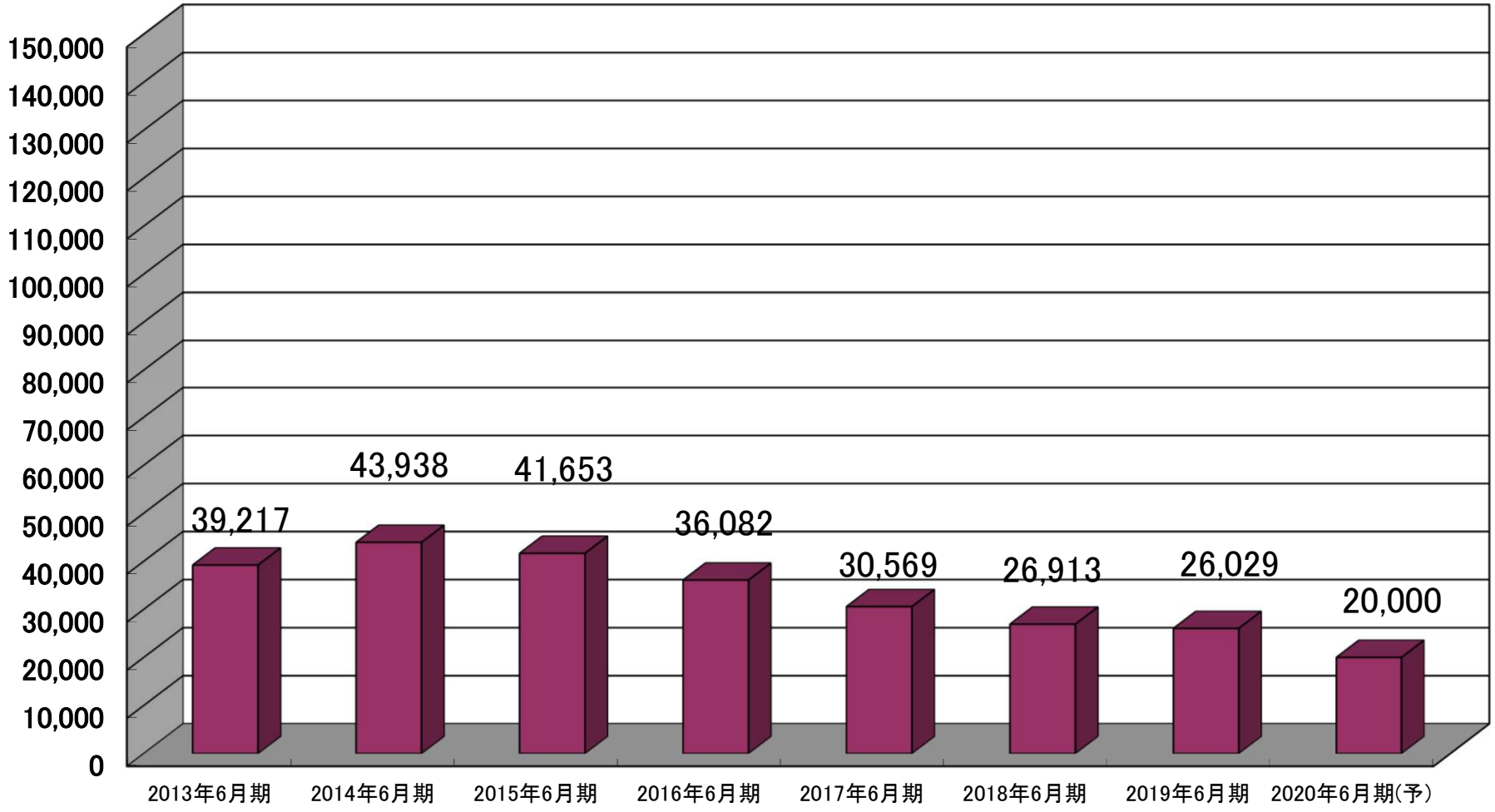
部門別状況 ～ 切 削 工 具 部 門

売上高(単位:千円)



部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

売上高（単位：千円）



設 備 投 資 と 減 価 償 却

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
設備投資額 (単位:千円)	107,982	98,321	222,346	197,196	78,360

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
減価償却費 (単位:千円)	212,072	195,071	181,786	175,564	175,961

切削工具部門の戦略と受注状況

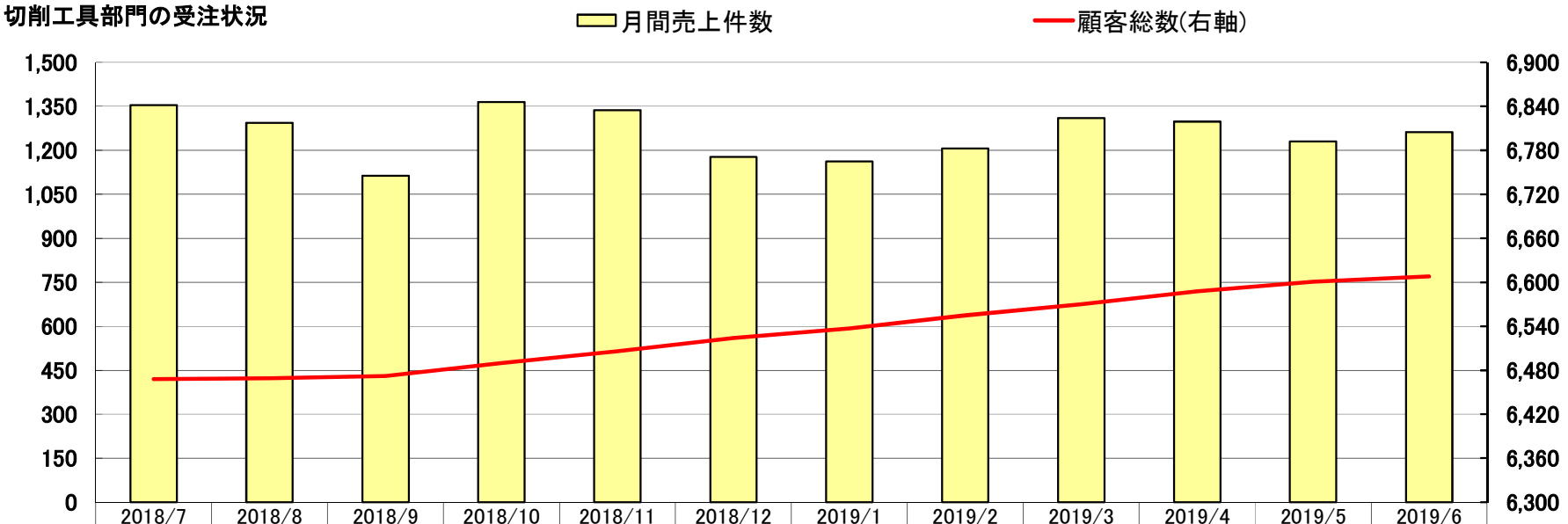
受注体制（人材、設備、社内オペレーション）を万全にする

新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める

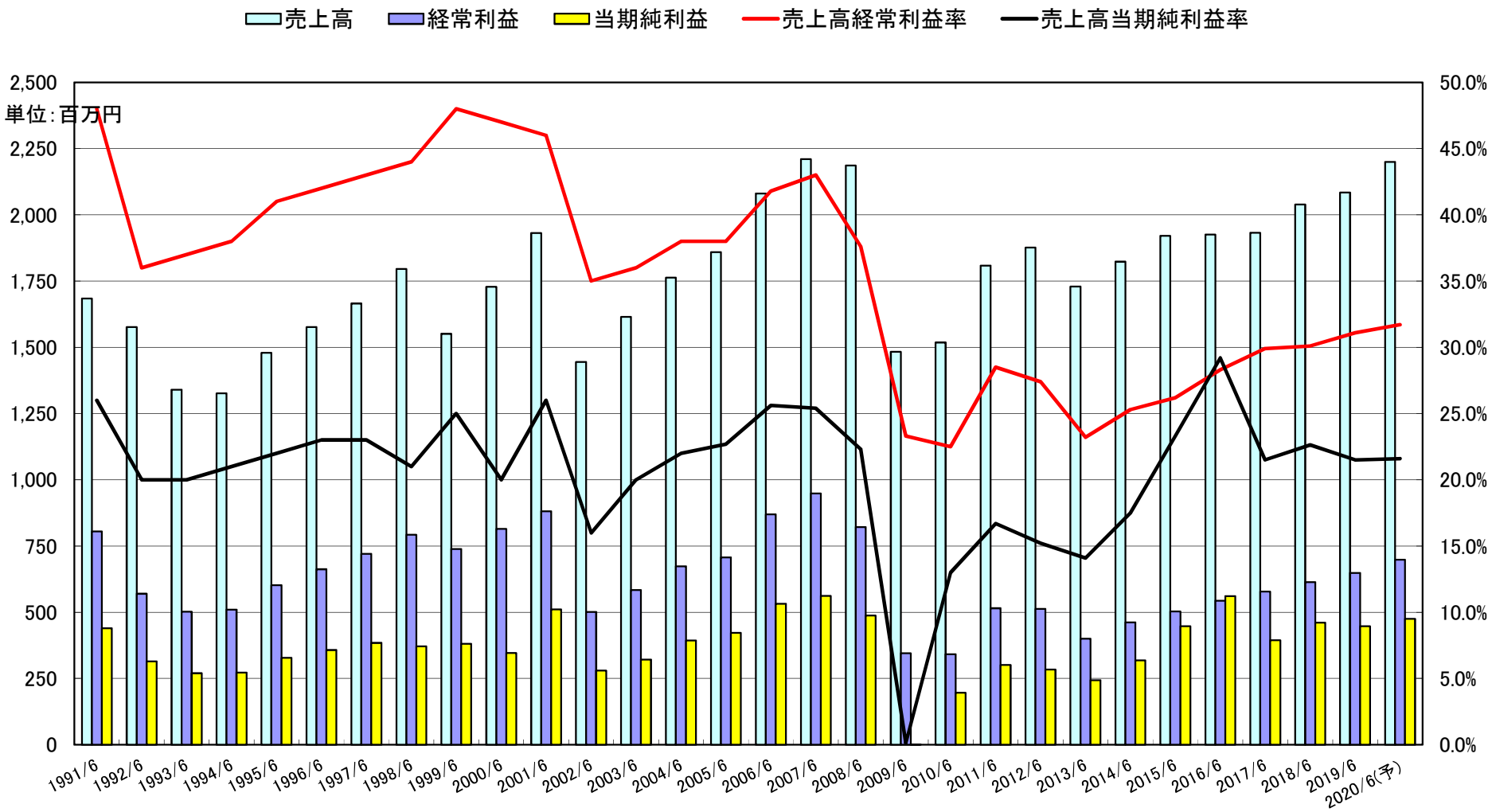
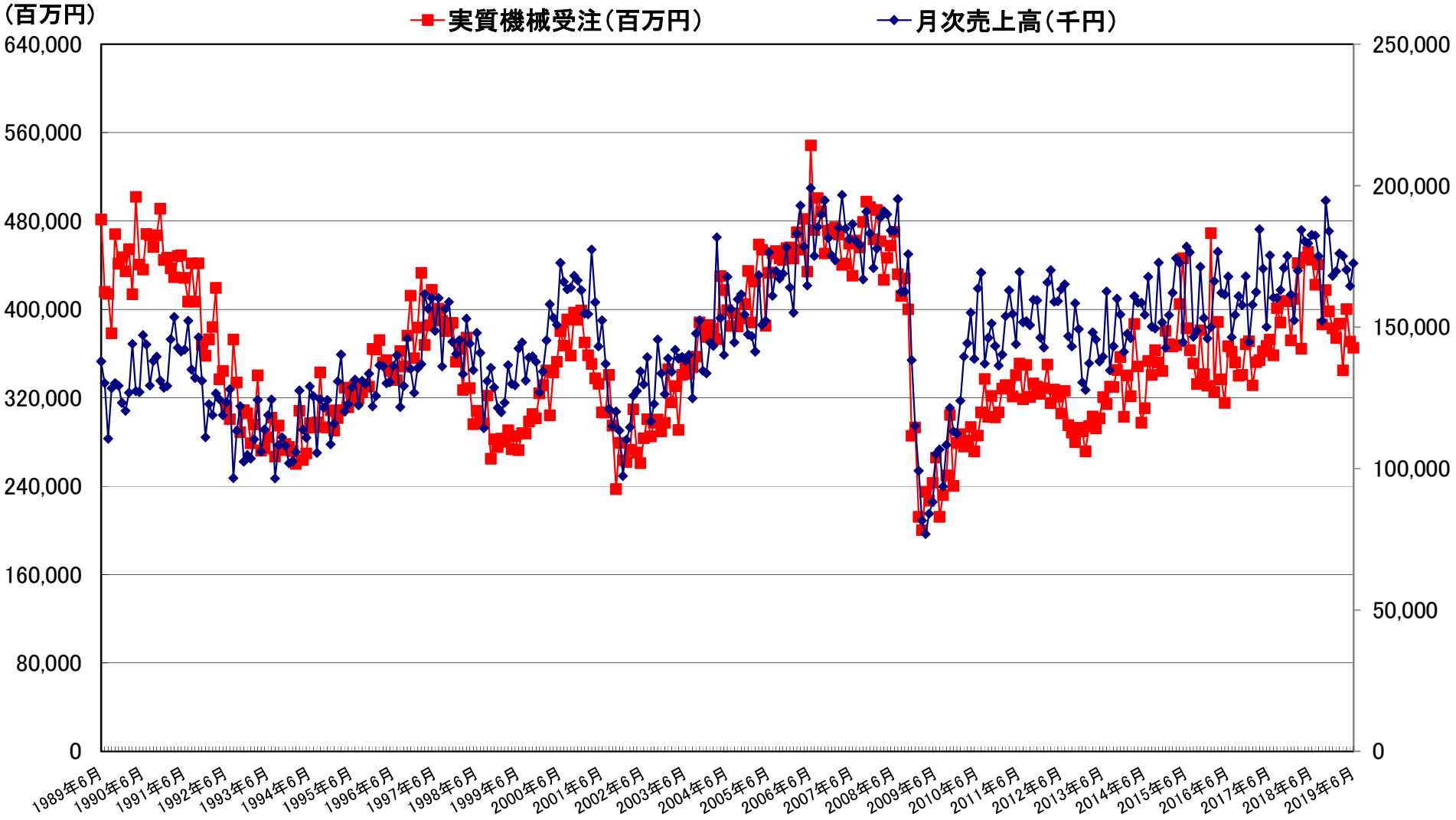
特殊切削工具の対象先を絞り、顧客層の拡充を図る

切削工具部門の受注状況



	2018/7	2018/8	2018/9	2018/10	2018/11	2018/12	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5	2019/6
月間売上件数	1,354	1,294	1,114	1,365	1,337	1,177	1,162	1,207	1,310	1,298	1,230	1,262
顧客総数(右軸)	6,468	6,469	6,472	6,490	6,506	6,524	6,537	6,555	6,570	6,588	6,601	6,608

業　績　の　推　移


売上高
経常利益
当期純利益
売上高経常利益率
売上高当期純利益率
単位：百万円
2,500
2,250
2,000
1,750
1,500
1,250
1,000
750
500
250
0
50.0%
45.0%
40.0%
35.0%
30.0%
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
0.0%
1991/6
1992/6
1993/6
1994/6
1995/6
1996/6
1997/6
1998/6
1999/6
2000/6
2001/6
2002/6
2003/6
2004/6
2005/6
2006/6
2007/6
2008/6
2009/6
2010/6
2011/6
2012/6
2013/6
2014/6
2015/6
2016/6
2017/6
2018/6
2019/6
2020/6(予)

実 質 機 械 受 注 と 月 次 売 上 高